

しょう6 こくご「物語・随筆を読む」 その1

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

- 1 ^{あに}兄が^{おも}こわしたと思^かっていた花^{じつ}びんを、^{じぶん}実は自分^わが割^きっていたと^{しょうじき}気づいた^うみき。正^あ直^{こころ}に打^きち明^あけると、心^きのもやもやが^き消えた。

みきのもやもやが消えたのは ^きなぜ？

^かア 花^{あに}びんが^ききらいだから ^{あに}イ 兄^かがお^{なほ}こられたから ^かウ 花^{なほ}びんが^{なほ}直^{なほ}ったから

^{しょうじき}エ 正^{はな}直^{きも}に話^{きも}して気^{きも}持^{きも}ちが^{きも}す^{きも}っきりしたから ^{きも}こたえ _____

- 2 ^{おも}重^{にもつ}い荷^{はこ}物^{せんせい}を^み運^みぶ先^な生^いを^{はんぶん}見^もて、^{せんせい}けん^{たす}とは何^{たす}も言^{たす}わ^{たす}ず^{たす}に^{たす}かけ^{たす}よ^{たす}つて^{たす}半^{たす}分^{たす}持^{たす}った。先^{せんせい}生^{たす}の「助^{たす}か^{たす}る^{たす}よ」に、^{だま}けん^{だま}とは黙^{だま}って^{だま}う^{だま}な^{だま}ず^{だま}いた。

けんとの^{こうどう}行^わ動^わから^わ分^わかる^わこ^わとは？

^{せんせい}ア 先^{にもつ}生^{きも}が^{きも}こ^{きも}わ^{きも}い ^{にもつ}イ 荷^{きも}物^{きも}が^{きも}ほ^{きも}しい ^{きも}ウ ひ^{きも}ま^{きも}だ^{きも}った ^{きも}エ 困^{きも}っ^{きも}て^{きも}い^{きも}る^{きも}人^{きも}を^{きも}進^{きも}ん^{きも}で^{きも}助^{きも}け^{きも}る^{きも}人^{きも}だ

^{きも}こたえ _____

- 3 ^あゆう^おきは^おリ^おレー^おで^おバ^おト^おンを^お落^おとし^おた。レ^おース^おの^おあ^おと、あ^おや^おま^おる^おゆう^おき^おに、チ^おー^おム^おの^おみ^おん^おな^おは

「^{かお}顔^あを^あ上^あげ^あた」^{きも}と^{きも}きの^{きも}ゆう^{きも}き^{きも}の^{きも}気^{きも}持^{きも}ち^{きも}は？

^{かお}ア ^あみ^あん^あな^あに^あお^あこ^あっ^あて^あい^ある ^あイ ^あ仲^あ間^あの^あ言^あ葉^あに^あは^あげ^あま^あさ^あれ^あて^あ前^あ向^あき^あに^あな^あった

^あウ ^あレ^あース^あの^あ結^あ果^あは^あど^あう^あで^あも^あよ^あい ^あエ ^あま^あだ^あく^あや^あしく^あて^あ泣^あき^あた^あい ^あこ^あた^あえ _____

- 4 ^{あめ}雨^{みち}あ^{みち}が^まり^{なか}の^{なか}道^{なか}で、^{なか}み^{なか}み^{なか}ず^{なか}が^{なか}道^{なか}の^{なか}真^{なか}ん^{なか}中^{なか}に^{なか}い^{なか}た。^{くさ}ふ^{くさ}ま^{くさ}れ^{くさ}な^{くさ}い^{くさ}よう^{くさ}に、^{くさ}ゆう^{くさ}きは^{くさ}そ^{くさ}つ^{くさ}と^{くさ}草^{くさ}む^{くさ}ら

ゆう^{こうどう}きの^わ行^わ動^わから^わ分^わかる^わこ^わとは？

^あア ^あと^あて^あも^あい^あそ^あい^あで^あい^あた ^あイ ^あみ^あみ^あず^あが^あ好^あき^あな^あだ^あけ^あだ ^あウ ^あ小^あさ^あな^あ生^あき^あ物^あの^あ命^あも^あ大^あ切^あに^あし^あて^あい^ある

^あエ ^あ草^あむ^あら^あで^あ遊^あび^あた^あい ^あこ^あた^あえ _____

5 おばあちゃんの家の古い時計は、少しおくれる。母は「直そうか」と言ったが、おばあちゃんは「これでいいの」とやさしく笑った。

おばあちゃんが「これでいい」と言ったのはなぜ？

ア 直す お金がないから イ 時間を知りたくないから

ウ 思い出のつまった時計をそのままにしておきたいから エ 時計に興味がないから
こたえ _____

6 畑のトマトが赤くなった。毎朝水をやり、育てて来たそうた。一つもいでかじると、すっぱさの中に、やりとげたあまさがあった。

そうたが感じた「あまさ」とは？

ア つかれた気分 イ 砂糖の味 ウ 雨水の味 エ 自分で育てあげた満足感 こたえ _____

7 コンクールの結果は銀賞だった。金賞をねらっていたみんなはしずんだが、りなは「来年こそ」と、こぶしをにぎった。

りなが「こぶしをにぎった」ときの気持ちは？

ア 銀賞で大満足だ イ もうやめたい ウ くやしさをバネに次をめざそうとしている

エ 音楽がきれいになった こたえ _____

8 家族で川原に来た。石を積んではくずし、笑い合う弟たち。ふだんは大人ぶる兄も、この日ばかりは子どもの顔になって、一緒に遊んだ。

兄の様子から分かることは？

ア 弟たちがきらいだ イ 早く帰りたい ウ ふだんはかくしている素直な心が出ている

エ 石が好きなだけだ こたえ _____

9 いちねんかん まいあさみず つづ あさがお おお はな はな み つづ
一年間、毎朝水やりを続けた朝顔が、大きな花をさかせた。あきはその花を見て、続けて
よかったと心から思った。

あきが「続けてよかった」と思ったのはなぜ？

ア 水やりがいやだったから イ 毎日の世話が花となって実ったから

ウ 花がすぐにかれたから エ 朝顔がきれいだから こたえ _____

10 か きんぎょ し にわ はか つく て あ
飼っていた金魚が死んでしまい、りなは庭にお墓を作った。「ありがとう」と手を合わせ
ると、なみだがこぼれた。

りなの気持ちに近いのは？

ア 金魚がきれいだった イ 庭で遊びたい ウ 金魚とのお別れがかなしい

エ 早く新しい金魚がほしい こたえ _____

11 かえ き おも てん ひく まちが ところ みなお
テストが返って来た。思ったより点が低くてがっかりしたが、間違えた所を見直すと、
「次はここに気をつけよう」と前を向けた。

「前を向けた」のはなぜ？

ア 間違いを次に生かそうと思えたから イ 見直しをやめたから ウ テストがなくなったから

エ 点が高かったから こたえ _____

12 ろうけん ぼく がっこう かえ お むかし はし
老犬のシロは、僕が学校から帰ると、ゆっくり尾をふる。昔のように走ってはこない。そ
れでも毎日、門の前でぼくを待っている。

シロの様子から分かることは？

ア 門の外に出たがっている イ 「僕」のことを忘れてしまった ウ 散歩がきれいになった

エ 年をとっても「僕」を大切に思っている こたえ _____

- 13 ^{にゅういん}入院した友に^{とも}手紙を書いた。^{てがみ}うまくはげませる^か言葉が見つからず、ただ「^{ことば}待ってるよ」^みとだけ書いた。それでも、^{ぼく}僕の^{きも}気持ちはこもっていた。

「^ま待ってるよ」の一言に^{ひとこと}こめられた^{きも}気持ちは？

^{はや}ア 早く^{てがみ}手紙を書き^か終えたい^お気持ち ^{きも}イ 友の^{とも}回復を^{かいふく}願い、^{ねが}帰りを^{かえ}待つ^ま思い^{おも}

^{てがみ}ウ 手紙が^{きも}めんどろな^{きも}気持ち ^{とも}エ 友を^{きも}せめる^{きも}気持ち ^{こたえ}_____

- 14 ^{おとうと}弟が^{ねつ}熱を出した^だ夜、^{よる}母は^{はは}一晩中^{ひとばんじゅう}そばについていた。^{あさ}朝、^{かお}つかれた^{はは}顔の^み母を見て、^{ちゃ}あきらはそっと^{ちゃ}あたたかい^{ちゃ}お茶をいれた。

あきらが^{ちゃ}お茶をいれたのはなぜ？

^{ちゃ}ア お茶が^の飲みたかったから ^{はは}イ ひまだったから ^{はは}ウ 母に^{はは}たのまれたから

^{かんびょう}エ 看^{はは}病で^{はは}つかれた^{はは}母を^{はは}いたわり^{はは}たかったから ^{こたえ}_____

- 15 ^{にがて}苦手な^{にじゅう}なわとびの^{なんど}二重とび。^{しっぱい}何度も^{さんかいづつ}失敗した^{せいこう}そう^{おも}まだが、^{さんかいづつ}ついに^{せいこう}三回^{せいこう}続けて^{せいこう}成功し、^{おも}思わず^{おも}ガッツポーズをした。

そうまが^{せいこう}ガッツポーズをしたのはなぜ？

^あア なわとびが^あきらいだから ^あイ つかれたから ^あウ 終わり^あたかったから

^あエ できなかった^あことが^あできて^あうれしかったから ^{こたえ}_____

- 16 ^{としょ}ひなは^{しつ}図書室で^お落とし^{もの}物の^{ふでばこ}筆箱を^{ひろ}拾った。^も持ち主が^{ぬし}分からず^わこまったが、^{かかり}係の^{せんせい}先生にとど^{こころ}けると、^{かる}心が^{かる}すっと^{かる}軽くなった。

ひなの^{こころ}心が「^{かる}軽くなった」のはなぜ？

^{じゅぎょう}ア 授^お業が^お終わったから ^{ふでばこ}イ 筆箱を^{ふでばこ}もらえたから ^{せんせい}ウ 先生に^{せんせい}ほめられたから

^{ただ}エ 正しい^{おも}と思う^{おも}ことを^{あんしん}して^{あんしん}安心したから ^{こたえ}_____

- 17 いつも無口な祖父が、僕の合格を聞くと、めがねを外して何度も目もとをぬぐった。何も言わなかったが、僕には十分だった。

祖父の様子から分かる気持ちは？

ア めがねがきたなかった イ 合格に反対している ウ 言葉にしなくても心から喜んでいる
エ 早く帰りたい こたえ _____

- 18 けんたは、百点の答案をかばんの奥にしまった。となりの席の友だちが、テストの点が悪くて落ちこんでいたからだ。

けんたが答案をしまったのはなぜ？

ア 先生にしかられたから イ 点数が悪くてはずかしかったから
ウ 落ちこんでいる友だちを気づかったから エ 答案をなくしたくなかったから
こたえ _____

- 19 新しいクラスで、まだ友だちのいないりく。昼休みに一人っていると、「サッカーしようぜ」と声がかかった。りくの足は、自然と前に出た。

「足が自然と前に出た」ときのりくの気持ちは？

ア サッカーがきらいだ イ さそいがうれしくて仲間に入りたい ウ こわくてにげたい
エ 一人でいたい こたえ _____

- 20 足の遅いぼくを、リレーのアンカーに選んでくれた仲間。「お前を信じてる」その言葉に、僕は全力で走った。

僕が全力で走ったのはなぜ？

ア 一人になりたいから イ 走るのが好きだから ウ リレーがきらいだから
エ 信じてくれた仲間の思いにこたえたかったから こたえ _____

こたえ しょう6 こくご「物語・随筆を読む」 その1

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1 エ 正直に話して気持ちがすっきりしたから | 12 エ 年をとっても「僕」を大切に思っている |
| 2 エ 困っている人を進んで助ける人だ | 13 イ 友の回復を願い、帰りを待つ思い |
| 3 イ 仲間の言葉にはげまされて前向きになった | 14 エ 看病でつかれた母をいたわりたかったから |
| 4 ウ 小さな生き物の命も大切にしている | 15 エ できなかったことができてうれしかったから |
| 5 ウ 思い出のつまった時計をそのままにしておきたいから | 16 エ 正しいと思うことをして安心したから |
| 6 エ 自分で育てあげた満足感 | 17 ウ 言葉にしなくても心から喜んでいる |
| 7 ウ くやしさをバネに次をめざそうとしている | 18 ウ 落ちこんでいる友だちを気づかったから |
| 8 ウ ふだんはかくしている素直な心が出ている | 19 イ さそいがうれしくて仲間に入りたい |
| 9 イ 毎日の世話が花となって実ったから | 20 エ 信じてくれた仲間の思いにこたえたかったから |
| 10 ウ 金魚とのお別れがかなしい | |
| 11 ア 間違いを次に生かそうと思えたから | |